

'71

会報



THE ROTARY CLUB
OF TSURUOKA

鶴岡ロータリー

第 600 号

1971.4.27 (火)

例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや

事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内 ☎ 5775

会報はご家族みんなで読みましょう

四つのテスト

—言行はこれに照してから—

1. 真実か、どうか
is it the truth?
2. みんなに公平か
is it fair to all concerned?
3. 好意と友情を深めるか
will it build goodwill and better friendships?
4. みんなのためになるかどうか
will it be beneficial to all concerned?

◁ 隔りを取り除こう ▷

五十嵐正雄君、菅原久弥君、松田善三郎君—鶴岡西RC

出席報告

本日の出席	会 員 数	60名
	出 席 数	40名
	出 席 率	66.66%

欠 席 者 阿宗君、阿部(公)君、阿部(襄)君、荒明君、長谷川(悦)君、早坂(徳)君、平田(圭)君、石黒君、伊藤君、金井君、金野君、嶺岸君、三浦君、齋藤(信)君、佐藤(伊)君、佐藤(昇)君、佐藤(忠)君、新穂君、笹原君、佐々木君

前回の出席	前回出席率	73.33%
	修正出席数	51名
	確定出席率	85.00%

マークアップ 長谷川(文)君、石黒君
—温海RC
阿部(公)君、長谷川(悦)君、五十嵐(伊)君、小野寺君、齋藤(信)君—鶴岡西RC

ビジター 齋藤一郎君—酒田RC

スマイル 小花盛雄君
市議に当選を記念して

会長報告

本日の例会時間を30分間繰り下げましたのは、鹿児島西ロータリークラブの鮫島さんが当クラブ訪問の予定で、それに合わせる意味で繰り下げたのです。しかしどうしても鮫島さんの本日の出席は叶わないということでございます。

それは松ヶ岡さんの方でお招きして、今日は先方のスケジュール(松ヶ岡開塾100年記念式典)が一杯で、他にいられては困るとのことのためです。

今朝安藤さん、齋藤栄作先生、上野さん、高橋さんらが駅に出迎えてそのようにお話をうけたまわってきたとのこと。その節、屋久島の杉でできたこの額を頂戴しました。それから向うの焼酎を2本クラブで頂戴しました。同時にメッセージを頂いたので読み上げ

ます。

鶴岡クラブの皆様お元気ですか。

かつて皆様が鹿児島に来られて、鹿児島西ロータリークラブに寄せられた御懇情を謝し本日元会長鮫島志芽太君が錦地を訪問するに当りまして友愛と奉仕の心を以て兄弟RCへのごあいさつを申し上げます。

貴RCの御発展と会員皆さまの御壮健を心から祈ります。

鹿児島西RC一同より

4月26日

鶴岡RC会長様
他御一同様

鹿児島西クラブ会長 久保田彦穂
幹事 久保 政治

鹿児島市城山町
ホテル 鶴 鳴 館 内

そのことについて許される時間は29日午後からで、先方のスケジュールからは完全に外れるとのことで、当クラブとしても歓迎の意味で何等かの企劃を申し上げたいと思っております。安藤さんの方からその企劃について御発表をおねがいしたいと思います。

次に鶴岡市文化会館も落成近くなり、富樫(良)さんのご好意により金内馨子リサイタル(ソプラノ)の招待券をいただいております。若し御希望の方がございましたら事務局までお申し出をおねがいします。期日は5月13日の午後3時からです。この方は鶴岡市出身のソプラノ歌手だとのことです。

次の当クラブからはじめて小花先生が市議に立候補され、芽出度くご当選なされました。後刻小花先生から御挨拶していただくことが出来れば大変幸のことと存じます。

市議に当選して 小花盛雄君

このたび市議会に立候補しましたところ、こういう途のものでもありませんし、途中において幾多苦しい戦もございましたけれどもその都度会員の皆様からは、非常に力強い御

激励、御鞭撻あるいは暖い手を差しのべていただき、本当に蔭になり日向になって、よちよち歩きの私をお引過しいただきました。それでどうやらあまりビリの方ではないところで当選することが出来ました。これは私の生涯忘れることの出来ない感激であります。この感激を太い柱にして、かつロータリー精神である奉仕の一字に邁進し、何等かの地域住民に対しお役に立つような仕事をして行きたいという風に心に誓っているところであります。

本当に皆様からお寄せいただいたロータリーの友情というものを身にしみて感じたものでありますので、この席を借りまして、御礼を申し上げます。まことに有難うございました。

鮫島さんの歓迎について 会長より

鹿児島西クラブのことですが、鮫島さんの歓迎の意味で、当クラブとしてご招待申し上げたいと存じております。それで29日の午後からとのことなので、先刻お語りして、当地の名所旧蹟にあたる羽黒山、善宝寺、国道7号線オパコオケサライン等を御案内したらいかかかと思っております。唯多数の方々のご参加を望むところで、あまりにも急であります。何人か纏ってご出席希えれば、マイクロバスにでも皆様から一緒に同乗していただき、車の中で歓談しながらその辺を廻るような企劃をしたら如何かと思っております。

なお29日の夜行列車の日本海でお帰りにされるということで、その前に宿泊しておる湯田川のみやま旅館に、私達が訪問して向うで懇親会をやったら如何と考えております。

それらの経画については後刻安藤さんからご説明おねがいします。

鮫島さんの歓迎について 安藤定助君

一昨年皆様のお蔭で鹿児島との盟約式に、クラブの代表として参加いたしました関係上向うのクラブと非常にお仲よしにしていただくことができました。鮫島先生にも彼地で非

常にお世話になって参りましたので、今朝お着きをたのしみにしてお迎えしたわけであり
ます。

斎藤先生、高橋さん、上野さんあたりが御一緒に
出迎えて呉れましたが、鶴岡のスケジュールは
はっきりしませんでしたのでその打合せをしたので
あります。

今度お出でになられた目的は、松ヶ岡開墾場の
開墾 100 年祭に鹿児島県の代表として参加する
ためであります。ご一行は鹿児島県の荘内会の
会長のやっぺい先生と、鹿児島県西 RC の鮫島
さんと、鹿児島県に明治 100 年記念館という
のが出来るので、その室長補佐をやっている
本田という方と 3 人でお出でになっております。

今日は鶴岡駅から湯田川たみや旅館にお着
きになると朝御飯を召し上げて、直ちに松ヶ岡
開墾場の 100 年式典に参加されております。
ご予約は今日の日中は 100 年祭に参加され
て、夜は松ヶ岡開墾場主催の安岡正篤を中心
とした晩餐会があり、これに参加されるとの
ことです。明日はご一行が、菅先生の菩提寺
をお参りしたり、ご生家を訪問したり、博物
館を見物したり、それから鮫島さんは鹿児
島の姉妹校である第二小学校を訪ねるとい
うようなことで日中をつぶされるご予約の
ようです。

夜は一昨年のも市の盟約式に参加した人達
で、内端の市の歓迎会的なものを催され、そ
れに参加されるご予約のようであります。今
朝榎本市会議長に連絡したら、そういう形で
打合せをしていることを承りました。

29日はきまったスケジュールはないよう
ですが、一度午後から RC の方にお渡しする
というので打合が出来ました。というのは過
日鮫島さんからお手紙があり 1 時頃あたり
に何とか皆様にお会いしたいとのことでしたが
今朝お会いしてみると松ヶ岡開墾場の方で鮫
島さんから 1 時間にぬかれては式典の方が
おかしくなるし、そのためにお出でになら
れたのだから、今日一日は松ヶ岡の方で時
間の方をいただきたいとのことで、己を得
ず 29 日の

午後から日本海で御帰りになるまでは、ク
ラブでご随意に歓迎していただきたいとの
ことで話がまとまった訳であります。

それで今朝急に会長さんからそういう訳
でさっぱり要領を得ないので、打合したと
ころでプランをたてるような要請を受け
ました。

それでご一緒したロータリーの方々とご
相談して、出来ればマイクロバスの車の中
で交歓をしながら、今やシーズンたけな
わの羽黒山に参り、齊館で山菜料理で昼
食をともし、それから山を降り、善宝寺、
湯野浜から由良までのオバコオケサ
ラインの日本海の一番いいところをご
案内して、そののち国道 7 号線をの
ぼり湯田川の宿舎にお届けすることと
します。なおそこで午後 6 時半頃
からクラブの歓迎会ということで、
(あちらこちら引き廻さないで) お
宿に丹前の儘出でいただいて、和
かなくつろいだ気持ちで歓迎申し
上げたら如何かということで粗案
を会長さんに提案した次第
であります。

そういったことで、人数によっては
マイクロバスの案も生きるし、6 時半
という時間もどうかと思う方も
おありでしょうし、御参加の方
の宿営の関係もありますので、
幹事さんの方から人数などお
募りいただきたいと思
います。

それから一昨年のも訪鹿の
ことをそぞろ思い出して、今
朝から感激をまた新にしてい
るところであります。向うの
クラブからは 1 人参ったので
すが、駅頭には何人が出迎
えていただき、一面識もない
方々からだきつくようにし
て、よくきてくれたとい
って手を取りながらご自分
の車で会場まで運んで
いただきました。そこで
例会に出席してご挨拶
申し上げたわけですが、
それから帰るまで、昼
といわず夜といわず三
三五五会員の方がお
出でになり鶴岡の安
藤さんはどこに居る
というあんばい
です。先ず、鹿児島
の薩摩汁をご馳走
するから同行せよ
とか、鹿児島にこ
ういうところがある
から参れという
ようなことで、あ
ちらこちら引き
廻されるという
かっこうで、本
当にロータリー
の心と心のつ
ながった歓迎
を受

けて参りました。私としても、そういうことを思い浮べて、何とか心暖い歓迎を申し上げたいと思っております。私も時間を何とかやりくりして、出来るだけクラブロータリアンとして歓迎に奉仕して行きたいと思っております。

ここにいただいた芋焼酎は当地では口にしないもので、6年醸造とのこと。今朝犬塚先生と宿でちょっぴり味見をさせていただきましたところ素晴らしいもので、今日例会でお開きというような鮫島さんのお言葉でしたが、例会ではドライバーもいるので29日のエサにすることで今日は開かないことにおねがいします。29日の晩に御披露いたします。原酒以上と存じます。29日の歓迎会には賑々しくお出でねがいます。

(29日正午に商工会議所前をマイクロバスにて参加者が羽黒山に向けて出発することとなりました)

会員消息

元会員荘司繁太郎さんが去る23日仙台市に参られた折り、現会員加藤嘉八郎さんを病院に見舞われたところ、大へんおよろこびになられました。大分快方に向われ近く退院なされるとのことでありました。なお皆さんによりしく申上げてくれとのことでありましたのでお取次ぎいたします。(中山)

幹事報告

会報到着

八戸RC

定例理事会

5月の定例理事会を4日11時からこの席で行います。

鹿児島西クラブからいただいた額の由緒、同クラブから頂いた額の由緒が書いてありますので読み上げます。

縄文の昔より生き続ける4千年の屋久杉これは、由緒ある屋久杉の工芸品であります。

屋久杉は、世界に唯一つ、鹿児島市から南

西133km、周囲105kmの円い島、黒潮洗う屋久島の原産であります。

屋久島には、九州最高峰を誇る宮之浦岳をはじめ、1,000mを超える高峰が、実に30座にも及んでおりますが、この峰々には、縄文の太古より4,000年の風雪に耐えて来た神木屋久杉の雄大な原生林があり、悠久として幽玄なる光景は、全く他に比類のないものです。

数1,000年の星霜を経た、屋久島杉独特の空目の美しさ、木肌の光沢と潤い野性味溢るる香気は、まさに天然、自然の恵み以外の何物でもありません。優雅と気品に満ちたものであり筆舌に尽し難いものがあります。

一口に1,000年と申しますけれども、1,000年の歳月はなかなか長いもの、ましてや数1,000年の風雪に耐えて来た屋久杉の生命力は、実に驚嘆すべきものがあります。

最近これの保護が叫ばれ更に希少価値が高まるものと思われまます。

この神秘的にして気品ある天然の美と、現代的デザインを調和させて創作した屋久杉工芸品は、延命長寿、家内安全の象徴として、末長く御愛用頂けるものと存じます。